

令和5年度川崎市立高等学校専門学科合同発表会

川崎市立川崎総合科学高等学校全日制デザイン科の発表です。

- オープニングの音楽が流れ、テロップが現れます。

【テロップ】

川崎市立の高校には13の専門学科があることをキミは知っているか？

- タイトルが現れます。

【タイトル】

令和5年度川崎市立高等学校専門学科合同発表会  
川崎総合科学高等学校全日制デザイン科

- ナレーションが流れ、デザイン科の説明が行われます。画面にはテロップとデザイン科の実習室等の写真が表示されます。

【テロップ】

- 川崎市立川崎総合科学高等学校デザイン科
- デザイン科で学ぶこと  
様々なデザインの分野を基礎から応用まで系統的に学習します。
- 実習系授業の内容
  - ・ 1年次：デッサン・絵画・色彩・平面構成・情報技術
  - ・ 2年次：デッサン・平面デザイン（絵画・写真）・立体構成・3DCG・WEBデザイン・印刷製本・検定試験学習
  - ・ 3年次：デッサン・視覚伝達デザイン・プロダクトデザイン・プレゼンテーション・映像編集・立体造形・課題研究
- 学習環境  
デザイン科の実習授業の特性に応じた環境・設備が整っています。

○ 課題研究発表会の様子をご覧ください。

### 【ナレーション】

デザイン科では、将来のデザイナー、クリエイターを目指して、まず美術やデザインに関する基礎を学習します。

その後にビジュアル、プロダクト等のデザイン各分野を学び、さらに写真や映像、コンピュータグラフィックスによる作品制作によって、表現技術の向上に努めています。

それでは、課題研究発表会でのデザイン科の発表の様子をご覧ください。

- 課題研究発表会の様子が流れます。

### 【テロップ】

課題研究発表

川崎総合科学高等学校（全日制）

デザイン科3年生 井上さん

「武蔵小杉の親善大使のデザイン提案と  
SDGsと武蔵小杉がテーマの個展ポスター制作」  
（一部抜粋）

- スライドショーが始まり、生徒が説明を行います。
- スライド1枚目には、タイトルと発表者の氏名が書かれています。

### 【ナレーション】

私が今回、課題研究として取り組んだのは、川崎市武蔵小杉の親善大使のデザイン提案と、SDGsと武蔵小杉がテーマの展覧会をイメージしたポスター制作です。

- スライド2枚目、研究の目標が3つ書かれています。

- ① 等身大パネルの制作。

展覧会を想定しているのでインパクトのある作品を制作する。

- ② 武蔵小杉をより盛り上げる方法をデザインの観点から提案する。

- ③ 1年間Photoshop、Illustratorなどの画像編集ソフトを積極的に利用し技術を応用。

### 【ナレーション】

課題研究の目標は3つ設定しました。

②に関しましては、先程も話しましたが、武蔵小杉にはこれといったキャラクター像がありません。

親善大使的なキャラクターがいれば、広報活動や商業施設がもっと明るくなるのではないかと考えました。

③に関しては、私はPCでの作業に自信がないので、将来的にも、不自由なく使えるようになりたいと考え、目標に設定しました。

- スライド3枚目には「課題研究の内容について」と書かれており、次の4枚目には1年間で制作した作品が書かれています。

「1年間で制作した作品」

等身大パネル（赤文字）、ミニキャラクターパネル、机上キャラクターパネル×2、SDGs×小杉むっこ展広告ポスター×2（赤文字）、小杉むっこ紹介パネル×2、展示パネル×3、ロゴパネル×2、報告ファイル、注釈パネル、キャンバスアート、SDGs×小杉むっこ展ポストカード×3、武蔵小杉の街並み写真集

### 【ナレーション】

それでは、課題研究の内容について、詳しく説明しようと思います。

1年間で制作した作品は、このようになっています。

赤文字の作品が、展示のメイン作品です。

- スライド5枚目、「①資料集め、写真撮影について」と書かれています。

- スライド6枚目、「武蔵小杉といえば」というキーワードについて調査した結果が列記されています。

「資料集め、写真撮影」

- ・ 駅前にショッピングモールなどがあり、栄えている。
- ・ 都心へアクセスしやすい。
- ・ ファミリー層が多い。
- ・ 通勤ラッシュが大変。
- ・ 物価が高い。
- ・ 近くに学校がある。
- ・ 北と南で街並みが大きく異なる。
- ・ 高層マンションが多く都会的。
- ・ 飲食店が多い。
- ・ 水害に遭いやすい。
- ・ 駅周辺は家賃が高い。
- ・ 治安が良くなった。

#### 【ナレーション】

資料集め、写真撮影についてです。

キャラクターを制作するにあたり、5月や6月から「武蔵小杉といえば」というキーワードについて調査、考察を行いました。

調査の結果、このような意見が得られたので、この意見をもとに、キャラクター像を考えていきました。

また、キャラクターの服装など、見た目に反映できるような、武蔵小杉の特徴的な色や、街並みを探しました。

- スライド7枚目、キャラクターのラフスケッチが数点表示されています。

#### 【ナレーション】

武蔵小杉について調査したことをもとに、キャラクターのラフを制作しました。

- スライド 8 枚目から 9 枚目にかけて、撮影した写真が紹介されます。

#### 【ナレーション】

次に、写真撮影についてです。

撮影場所、時間帯など、より武蔵小杉の特徴が表れているような写真を心掛けました。

このような写真を撮ることができました。

また、この高校からも、武蔵小杉の夜景を、一眼レフの望遠カメラで撮影を行いました。

- スライド 10 枚目、「②キャラクターデザイン、ロゴデザイン、ポスターデザインの制作について」と書かれています。

#### 【ナレーション】

次に、キャラクターデザイン、ロゴデザイン、ポスターデザインの制作についてです。

- スライド 11 枚目、制作した武蔵小杉の親善大使キャラクター小杉むっこのイラストを表示し、説明書きが加わっていきます。

#### 【ナレーション】

まず、キャラクターデザインについてです。

こちらが、今回制作した武蔵小杉の親善大使キャラクター小杉むっこです。

武蔵小杉の小杉と武蔵からむっこと名付けました。

性格は、明るくはつらつとした性格で、武蔵小杉には家族連れの方が多いので、小さな子供にもなじみやすいと考え、年齢の近い、中学生くらいの女の子になりました。

他にも、武蔵小杉周辺の街路樹の多さを意識した緑色の髪や、靴下やリボンに J R の南武線をイメージ、スカートや腕章には神奈川ブル

一など、キャラクターデザインに武蔵小杉のイメージを落とし込みました。

- スライド12枚目、メインビジュアル以外のイラストが4点表示されます。

【ナレーション】

メインビジュアルの他にも、何枚かイラストを制作しました。

- スライド13枚目、小杉むっこの等身大パネルの写真が2点表示されます。

【ナレーション】

また、このように等身大パネルを自作しました。

印刷は学校の印刷機を使い、スチレンボードにスプレーのりで貼り付け、カッターで2時間かけて周りをカットしました。

- スライド14枚目、ロゴデザインについて、6種類のロゴデザインが表示されます。

【ナレーション】

続いて、ロゴデザインについてです。

イラストレーターで制作しました。

小杉むっこの頭文字のKとMを表しています。

また、Mが川崎の川という漢字にも見えるようにも意識しました。

メインロゴの他に、川崎市のロゴマークのカラーを取り入れたものや、撮影した写真を使用したものも制作しました。

- スライド15枚目、ロゴデザインのうち、黒色のメインロゴが大きく表示され、ロゴのデザインについて説明が続きます。

【ナレーション】

また、Mの右端の部分は、意図的に隣よりも短くなっています。  
隣と同じ長さだと、目の錯覚で長く見えてしまうためです。

- スライド16枚目、たくさんのロゴデザインが表示されます。

【ナレーション】

こちらは、最終デザイン6種が決定するまでに制作したものです。  
余白のバランスや、写真や、カラーを変更するなど、パターンを作成し、アドバイスをもらいながら、目に留まりやすいデザインを模索しました。

- スライド17枚目、想定した展覧会ポスターのデザインが表示されます。

【ナレーション】

続いて、ポスターデザインについてです。  
こちらが、想定した展覧会ポスターのデザインになります。  
サイズはB2を2枚つなげたB1サイズです。  
小杉で撮影したものから、より小杉らしさのあるものを選びました。

- スライド18枚目、ポスターに左部分に用いた写真が表示され、ポスターのデザインについて説明をしています。

【ナレーション】

写真をフォトショップを使用しイラスト風加工し、色調を背景に合わせたキャラクターを配置することで、まるでキャラクターがそこにいるように見せています。

よく見ると、足元に影もついています。

右上にSDGsのカラーサークルと、小杉むっこのロゴを配置しました。

- スライド19枚目、ポスターの右側部分が表示され、ポスターのデザインについて説明をしています。

【ナレーション】

左側一面が写真なので、右側はシンプルさを意識しました。

下を書いてある文は、美術館等の企画展ポスターを参考にしています。

- スライド20枚目、「③その他制作について」と表示されます。

【ナレーション】

その他の制作についてです。

- スライド21、22、23、24枚目、その他に制作した作品を表示し、紹介しています。

【ナレーション】

キャンバスアート、展示パネル、ポストカード、写真集などを制作しました。

- スライド25枚目、研究を通して得られた反省点と課題について列記されています。

反省点としては

- 技術が足らなかったこと。
- 受験準備を甘く見ていたこと。
- テーマが曖昧な部分があったこと。

課題としては



- A d o b e 製品を継続して利用して技術の向上に励むこと。
- 下調べや先輩の話をよく聞くようにすること。
- 初期段階からより具体的に計画を練ること。

#### 【ナレーション】

初期段階から、より具体的に計画を練ることを具体的に実践できるようになりたいです。

最後に、課題研究に協力してくださった全ての方々に感謝します。  
ありがとうございました。

- スライド26枚目、「ありがとうございました」と表示され、発表が終わります。
- 令和5年度川崎市立高等学校専門学科合同発表会のタイトルロゴが現れ、「詳しくは学校ホームページをご覧ください！」と表示され、「川崎総合科学高校 デザイン科 検索」と表示されます。
- 川崎市のブランドメッセージロゴ「C o l o r s , F u t u r e !  
いろいろって、未来 川崎市」が表示されます。